

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況・評価【令和4年度実施計画】

No	事業名	担当課	事業概要	対象	実施状況	決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	評価
1	医療従事者宿泊支援事業費補助金	地域医療課	新型コロナウイルス感染症に係る検査・診療等に対応した医療従事者等の心身の負担軽減を図る	市内医療機関等	延べ1,156人泊	7,006,500	7,006,500	R4.4.1	R5.3.31	検査・診療等に対応した医療従事者等の心身の負担軽減が図られた。
2	休職者等農業マッチング緊急支援事業	りんご課	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、休職等を余儀なくされた方と人手不足に悩む農業者等のマッチングにより、市民生活及び農業生産の安定を図る	休職者等を雇用した農業者・農業法人等	交付申請件数:80件 雇用された休職者等:376人	66,179,931	66,179,931	R4.4.1	R5.3.31	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休職や自宅待機等となった市民等の就労の機会となり、生活の安定を図るための一助となったほか、農業生産現場では、補助労働力確保に繋げることができ、市民生活と農業生産現場の双方がウィンウィン関係を築くことができた。
3	生活交通バスICカード導入推進事業費補助金	地域交通課	路線バスの新型コロナウイルス感染症感染防止対策に対応した利用環境と市民サービスの向上を図るため、非接触型決済の交通系ICカード導入に係る経費の一部を補助	弘南バス株式会社	路線バスを運行する交通事業者に対し補助金として支出	78,768,000	78,768,000	R4.4.1	R5.3.22	新型コロナウイルス感染症の感染リスクが低減されたほか、地域住民や観光客等来訪者の利便性が向上した。
4	小・中学校修学旅行キャンセル料助成金	学務健康課	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた修学旅行を中止又は不参加としたことで生じたキャンセル料に対して助成金を交付し、経済的負担の軽減を図る	市内小・中学校	交付校数 小学校3校、中学校6校	1,631,999	1,631,999	R4.4.1	R5.3.31	キャンセル料の助成により保護者の経済的負担が軽減された。
5	小・中学校修学旅行等バス運行等事業費助成金	学務健康課	市内小中学校が実施する修学旅行等において、バスの増便や宿泊の増室など新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に要する経費を助成	市内小・中学校	交付校数 小学校28校、中学校11校	16,914,169	16,914,169	R4.4.1	R5.3.31	コロナ禍においても児童・生徒が安心して教育旅行を実施できる体制の整備が図られた。
6	抗原検査キット配布事業	地域医療課	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、抗原検査キットを無償で配布	無症状で、感染に不安を感じる市民等	検査キット5,000個を配布	14,135,000	14,135,000	R4.4.1	R4.8.31	検査機会の提供により、感染者の早期発見につながり、感染拡大の軽減が図られた。
7	団体等販売促進活動支援事業(R3補正予算分)	商工労政課	原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症により経済的に大きな影響を受けている事業者の事業継続と安定した経営基盤確保のため、市民の消費活動を促すことを目的に実施する販売促進事業に要する経費を補助	商店街振興組合、事業協同組合等	補助件数101件 地方紙2紙への新聞広告掲載1回	489,236,026	439,858,268	R4.6.3	R5.3.31	幅広い業種の団体が補助金を活用し、クーポン券の発行やスタンプラリー等を実施したことで、新型コロナウイルス感染症の影響で低迷していた、市民の消費意欲と地域経済回復の一助となった。
8	弘前ねぶた団体活動感染防止対策支援金	観光課	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じたうえで活動するねぶた団体を支援することで、ねぶた文化・伝統の維持・活性化を図る	市内ねぶた団体	マスクの着用、手指消毒の徹底など新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行ったうえで以下の活動を実施。 ・弘前ねぶたの制作及び地域運行 53団体×20万円 ・手持ちねぶたの制作等 6団体×10万円	11,200,000	11,200,000	R4.6.3	R4.12.28	当該支援金を交付したことにより、活動を継続できる団体が増えたことで、ねぶた文化を継承することができた。
9	四大まつり開催事業(弘前ねぶたまつり)	観光課	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じて「弘前ねぶたまつり」を開催することで、誘客促進による地域経済の活性化及び弘前ねぶたの伝統継承を図る	弘前ねぶたまつり運営委員会	新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒スポットの設置、テレビCM等の広報活動の強化、スタッフの巡回により基本的な感染防止対策を徹底しまつりを開催。 会期:令和4年8月1日～7日 人手:91万人	8,210,000	8,210,000	R4.6.3	R5.3.31	新型コロナウイルス感染症対策を実施したことにより、大きなトラブル等もなく3年ぶりとなる弘前ねぶたまつりを開催。91万人の人手となり、落ち込んだ観光需要の喚起・回復に寄与した。
10	原油価格・物価高騰に伴う臨時生活支援助成金	福祉総務課	原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症による生活への影響が続いていることから、電気料金などの生活に係る費用を臨時的に支援することで経済的負担の軽減を図る	令和4年度に新たに住民税非課税となった世帯(生活保護受給世帯含む)	給付世帯数:2,858世帯	28,580,000	14,290,000	R4.6.28	R4.12.28	住民税非課税世帯に対し助成金を交付することにより、当該世帯層の生活に係る費用の負担軽減が図られた。
11	交通事業者等事業継続特別対策支援金	地域交通課	原油価格の高騰や新型コロナウイルス感染症により経済的に大きな影響を受けている交通事業者等に対し、支援金を給付することで事業継続を支援	市内で高速バス事業、タクシー事業、自動車運転代行事業を営む事業者	事業継続に必要な燃料費等の費用の一部を支援するため、申請のあった事業者へ支援金として支出 ・高速バス事業者 1件 3,800千円(200千円×19台) ・タクシー事業者 8件 17,900千円(50千円×358台) ・運転代行事業者 16件 500千円(20千円×25台) ※申請時点で休車している車両は支援金の対象外	22,200,000	22,200,000	R4.6.28	R4.10.21	原油価格の高騰や新型コロナウイルス感染症により経済的に大きな影響を受けている事業者の負担を軽減したことにより、地域住民及び観光客等来訪者の足としての交通手段の確保が図られた。

No	事業名	担当課	事業概要	対象	実施状況	決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	評価
12	学校保健特別対策事業費補助金	学務健康課	(学校等における感染症対策等支援事業に限る)学校の教育活動継続のため、新型コロナウイルス感染症の感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学びを保障	市内小・中学校	交付校数 小学校32校、中学校16校	46,819,134	0	R4.4.1	R5.3.31	コロナ禍においても学校教育活動の着実な継続と、児童・生徒の学びの保障が図られた。
13	弘南鉄道安全輸送設備等整備特別対策事業費補助金	地域交通課	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い厳しい経営状況が続いている鉄道事業者において、原油価格及び原材料費の高騰などにより修繕費等の支出が増加していることから、沿線市町村と連携して鉄道事業者の負担を軽減し、安全かつ安定的な運行の維持を図るため、鉄道施設等の修繕に係る経費の一部を補助	弘南鉄道株式会社	事業継続に必要な鉄道施設(車両屋根)の修繕に係る経費を沿線市町村で按分(駅別利用者数割合)して補助金として支出	8,529,840	8,529,840	R4.4.1	R5.3.31	新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び電力・物価高騰の影響を受けた事業者の負担を軽減したことにより、公共交通である弘南鉄道の確保・維持が図られた。
14	食で応援！学生支援事業	企画課	原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症による生活への影響が続いていることから、市内各大学等に通う学生に対し、県産米や当市の特産品を配布し生活を支援	市内大学運営4法人、市内専門学校5校	市内各大学等に通う学生に向けて、食料品を配布し、生活支援を行った。 【配付物】米、特産品の詰め合わせ 【配付数量】1,332セット 【配布先】市内大学運営4法人、市内専門学校5校	4,428,276	4,428,276	R4.9.26	R4.11.30	アンケートの回答意見では、「たくさんの種類が入っていて嬉しかった」、「簡単に調理できるものが多くて嬉しかった」、「新米をもらって経済的に助かった」など、多くの喜びの声が寄せられたほか、自治体に望む支援については、「食支援」と回答した割合が最も多かった。
15	四大まつり開催事業(弘前城菊と紅葉まつり)	観光課	「弘前城菊と紅葉まつり」の開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を強化しながらも、新たな魅力を備えたまつりを実施することで、地域経済の活性化や近隣観光の促進を図る	弘前城菊と紅葉まつり運営委員会	フラワーアートや夜のライトアップ等を含め内容を充実させ、自由広場と三の丸庭園、中濠に拡充したことで、人を分散させて密な状況の回避を図りまつりの魅力度向上に努めた。 会期：令和4年10月28日(金)～11月6日(日)10日間 9時～19時(最終入場：18時30分) 開催場所：弘前公園(メイン会場：弘前城補植園) 入出：約4万人	12,870,000	12,870,000	R4.9.22	R5.3.31	新型コロナウイルス感染症対策を実施したことにより、安全安心なまつりを実施することができ、特に若年層の来場者が増加したこともあり、も落ち込んだ観光需要の喚起・回復に寄与した。
16	四大まつり開催事業(弘前城雪燈籠まつり)	観光課	「弘前城雪燈籠まつり」の開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じて、安全・安心なまつりを実施することで、地域経済の活性化や近隣観光の促進を図る	弘前城雪燈籠まつり運営委員会	歩きながらの飲食の禁止など感染症対策看板の制作、飲食エリア消毒や園内巡回の強化など新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行いながら実施。 会期：令和5年2月9日～12日 入出：22万人	4,299,000	4,299,000	R4.9.22	R5.3.31	新型コロナウイルス感染症対策を実施したことにより、安全安心なまつりを実施することができ、当市の課題となっている冬季観光の活性化に寄与することができた。
17	二十歳の祭典事業	生涯学習課	2回に分散しての開催やサテライト会場を用意するなど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮した二十歳の祭典を実施	地方公共団体	開催日：令和5年1月8日(日) 対象者：1,559人(市内在住) 参加者：1,034人(参加率66.3%)	1,829,133	1,829,133	R4.9.22	R5.3.31	2回に分散することで参加者の座席の間隔をあげ、手指消毒や検温を実施し新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じたうえ二十歳の祭典を開催することができた。
18	学校給食材料費	学務健康課	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経済状況が続く中、物価高騰に伴う食料費の増額分を支援することで、保護者負担を増やすことなく、質を保った学校給食を提供 【1食当たりの給食費】小学生260円→290円・中学生300円→330円	市内小・中学校	交付校数 小学校32校、中学校16校	19,901,346	19,901,346	R4.9.22	R5.3.31	保護者負担を増やすことなく、物価高騰前と同程度の質を保った学校給食を安定して提供できた。
19	団体販売促進活動支援事業(物価高騰対応分)	商工労政課	原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症により経済的に大きな影響を受けている事業者の事業継続と安定した経営基盤確保のため、市民の消費活動を促すことを目的に実施する販売促進事業に要する経費を補助	商店街振興組合、事業協同組合等	補助件数27件 地方紙2紙への新聞広告掲載3回	140,495,812	131,434,653	R4.10.3	R5.3.31	幅広い業種の団体が補助金を活用し、クーポン券の発行やスタンプラリー等を実施したことで、新型コロナウイルス感染症の影響で低迷していた、市民の消費意欲と地域経済回復の一助となった。
20	トラック等運送事業継続支援金	産業育成課	原油価格の高騰や新型コロナウイルス感染症により経済的に大きな影響を受けているトラック等運送事業者に対し、支援金を給付することで事業継続を支援	市内でトラック等運送事業を営む事業者	市内を拠点として使用されていると認められる車両台数に応じて支援金を給付 交付件数：124件(71,110,000円) 複写機使用料、通信運搬費(97,060円)	71,207,060	71,207,060	R4.12.12	R5.3.31	物流の基幹的な輸送機関として重要な役割を果たすトラック等運送業を対象に支援金を給付することにより、事業継続の一助となった。
21	価格高騰緊急支援助成金	福祉総務課	原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症による生活への影響が続いていることから、国の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の対象とならない世帯に対し、助成金を給付することで経済的負担の軽減を図る	令和4年度住民税均等割のみ課税された世帯	給付世帯数：4,421世帯	254,731,825	210,521,825	R4.9.22	R5.3.31	国の給付金の対象とならない住民税均等割のみ課税世帯に対し助成金を交付することにより、当該世帯層の生活に係る費用の負担軽減が図られた。
22	収入保険制度加入促進緊急対策事業	農政課	原油価格・物価の高騰及び新型コロナウイルス感染症の影響による需要減少や価格低迷など、経営リスクが増加していることから、減収を補てんする収入保険制度への加入を促進	市内農業者(個人・法人)	交付件数：1,023件	35,171,600	27,018,000	R4.4.1	R6.3.31	補助金を交付したことにより、農業者の収入保険への加入が促進され、農業経営の維持・安定化を図ることができた。
23	社会福祉施設等原油価格・物価高騰緊急対策支援金給付事業(高齢者施設)	介護福祉課	原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症により施設運営に大きな影響を受けている高齢者施設に対し、支援金を給付することでサービスの維持を図る	市内の高齢者施設	交付件数：174法人	134,492,000	134,492,000	R4.12.23	R5.3.31	物価高騰の影響を施設等の利用者にと軽減しなくても、安定的な事業運営を可能とするための一助となった。

No	事業名	担当課	事業概要	対象	実施状況	決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	評価
24	社会福祉施設等原油価格・物価高騰緊急対策支援金給付事業(障害者施設)	障がい福祉課	原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症により施設運営に大きな影響を受けている障害者施設に対し、支援金を給付することでサービスの維持を図る	市内の障害者施設	給付件数:101件	50,300,000	50,300,000	R4.12.23	R5.3.31	事業者の負担が軽減され、物価高騰の影響を利用者に転嫁することなく安定的な事業運営を図ることができた。
25	社会福祉施設等原油価格・物価高騰緊急対策支援金給付事業(幼児教育・保育施設)	こども家庭課	原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症により施設運営に大きな影響を受けている幼児教育・保育施設に対し、支援金を給付することでサービスの維持を図る	市内の幼児教育・保育施設	給付件数:68件	39,000,000	39,000,000	R4.12.20	R5.3.31	支援金の交付により、原油価格及び物価高騰の影響を受けている幼児教育・保育施設の経済的負担の軽減が図られた。
26	交通事業者等原油価格・物価高騰緊急対策支援金	地域交通課	原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症により経済的に大きな影響を受けている交通事業者等に対し、支援金を給付することで事業継続を支援	市内で高速バス事業、貸切バス事業、タクシー事業、自動車運転代行事業を営む事業者	事業継続に必要な車両の維持等にかかる費用の一部を支援するため、申請のあった事業者へ支援金として支出 ・高速バス事業者 1件 3,800千円(200千円×19台) ・貸切バス事業者 4件 9,400千円(100千円×94台) ※うち1件は高速バス事業者、2件はタクシー事業者で再掲 ・タクシー事業者 8件 19,500千円(50千円×390台) ・運転代行事業者 13件 460千円(20千円×23台)	33,160,000	33,160,000	R4.12.20	R5.3.10	原油価格の高騰や新型コロナウイルス感染症により経済的に大きな影響を受けている事業者の負担を軽減したことにより、地域住民及び観光客等来訪者の足としての交通手段の確保が図られた。
27	妊娠出産子育て支援交付金	こども家庭課	原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症による生活への影響が続いていることから、妊娠期から出産・子育てに係る費用を支援することで経済的負担の軽減を図る	妊娠の届出や出産の届出を行った妊婦等	出産応援給付金:支給件数1,313件 支給額65,650,000円 子育て応援交付金:支給件数717件 支給額35,850,000円	102,030,990	12,776,000	R5.2.1	R5.3.31	・妊娠期から出産・子育てに係る費用を支援することで経済的負担の軽減することができた。 ・給付金の支給を通じて妊産婦と連絡が取りやすくなり、妊産婦の状況把握がよりしやすくなった。
28	弘南鉄道運行継続支援事業	地域交通課	原油価格・物価の高騰や新型コロナウイルス感染症により経済的に大きな影響を受けている鉄道事業者を支援し、公共交通の運行継続を支援	弘南鉄道株式会社	弘南鉄道中長期計画上のR4旅客運輸収入とR4旅客運輸収入見込との差額及び動力費の価格高騰分の1/3を沿線市町村で按分(駅別利用者数割合)して支援金として支出 弘南線8,500千円 大鰐線1,300千円	9,800,000	9,800,000	R5.3.16	R5.3.29	新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び電力・物価高騰の影響を受けた事業者の負担を軽減したことにより、公共交通である弘南鉄道の確保・維持が図られた。
合計						1,713,127,641	1,451,961,000			